

# 福祉経営序論

1単位

担当教員：福祉経営学部長

通信教育課程の導入教育として、福祉経営とは何かを明らかにし、福祉経営を学ぶうえでの課題や方法について論ずる

## 講義目的・到達目標

- ① 導入課程として福祉経営学部(通信教育)の専任教員による対面授業を受け、教員の人となりを知る
- ② 本スクーリングを通じて学習の全体の見取り図を得る
- ③ 大学における学び方を知り、学習意欲を高める

通信教育という形態で学習を進めるうえで最も大きな課題は、孤独な環境のなかで学習の動機づけを長期にわたって維持することである。この困難を乗り越えるうえで、先の見通しをもつこと、学友や教員の励ましを得ることが大きな力となることがわかっている。このスクーリングはそのためのものである。

## 講義の構成

### 講義の流れ

初めに、入学式に代わる行事として開講式を開催する。ここでは学長式辞、学生代表による「誓いの言葉」、専任教員による簡単な挨拶が行われる。

続いて基調講演と講義が実施される。昼食休憩をはさんで、午後からは学生同士が知り合う機会となる交流会を、1時間程度開く。その後、分科会に流れる。分科会では、関心のある講義・ワークショップを1つずつ、計2つを選択する。その後、科目修了試験を受ける。

1 スクーリング開講式

2 基調講演

3 講義

4 交流会

5 分科会1

6 分科会2

7 科目修了試験

### 講義のポイント

オムニバス形式のスクーリングなので、それぞれの講義、分科会ごとにポイントがある。



## 受講するにあたって

- ① 事前学習の  
すすめ 特に必要なし。
- ② 参考図書 講義、分科会の中で各教員から適宜、提示される。
- ③ 評価基準 すべての設問に的を外さず答えていること、単なる感想ではないこと、自分に引き付けて感想を述べている場合でもよく考えられており、次につながるような解答であることなど、詳しく当日提示。
- ④ より学びを  
深めるために より学びを深めるために、各教員が担当しているより専門的な講義、スクーリングを受講する。